

地形・地質

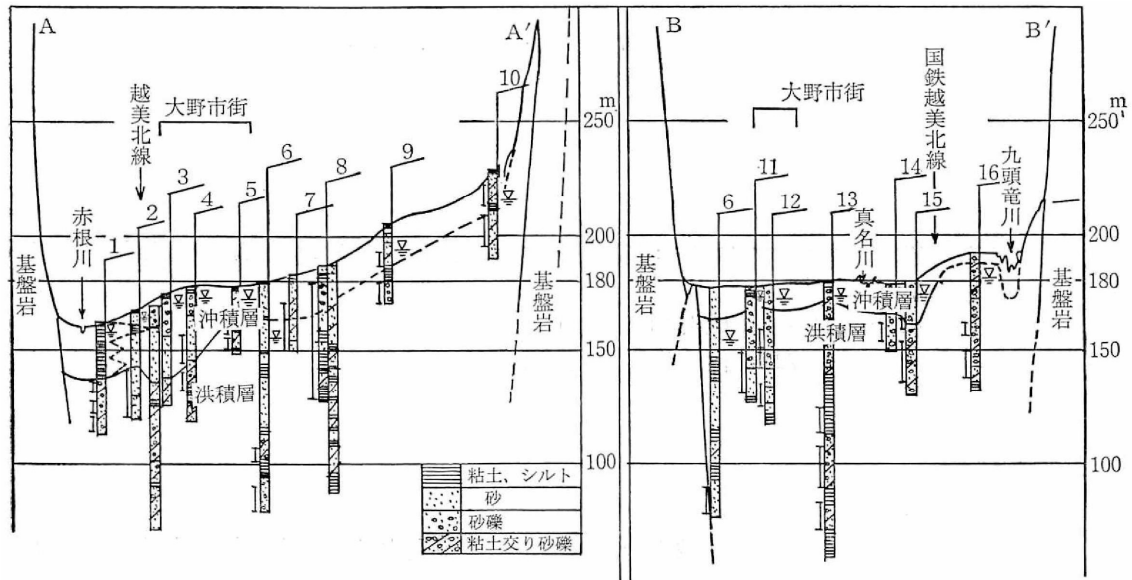
大野盆地は、北方および東方を加越山地、西方を越前中央山地、南方を越美山地に囲まれた面積約 100km² の扇状地性の山間小盆地で、成因的には三方が断層によって陥没した断層角盆地です。盆地は第四紀の砂・礫・泥などで埋められています。



大野町盆地の水文地質図

地下水

大野盆地は地下水に恵まれた地域で、生活用水や工業用水の大部分は地下水で賄われてきました。帯水層は沖積層や洪積層中の砂礫層です。第四紀層の砂礫率は大野市街地周辺部で大きく、九頭竜川や真名川の中下流部や赤根川の下流部で小さいです。



大野盆地の地質断面図

出典 日本の地下水（農業用地下水研究グループ,1986）（一部加筆）

「日本の地下水」では全国の地下水盆の概要が紹介されています。各地下水盆の概要を紹介している頁と関連する論文等を、下記の Web ページで閲覧できます。

<http://www.iagh.jp/ip/g/activities/committee/research/gwdb.html>（日本地下水学会）